

2020年1月28日

「第9回中南米日系社会との連携調査団」 2020年2月に13社を派遣 関西地方から3社がブラジルへ

国際協力機構（JICA）は、2012年度より「中南米日系社会との連携調査団」の名称で、中小企業によって構成される調査団を中南米に派遣しています。毎回、多くの企業様から関心をお寄せ頂いており、今回も優れた技術・製品を有する40社超の企業様から応募を頂きました。その中からこの度、2020年2月にブラジルに派遣される13社が決定しました。関西地方からは、京都府に所在を置く「株式会社京都科学」、大阪府に所在を置く「ジージーピー株式会社」、滋賀県に所在を置く「甲陽興産株式会社」の3社が同調査団に参加致します。

ブラジルは世界第5位の面積（日本の22.5倍）と人口を抱え、世界第9位（2018年：IMF）の経済規模を誇り、グローバル・プレーヤーとしての国際的地位を高めています。戦前、戦後に日本からブラジルに移住した日本人を中心に、世界最大の日系人コミュニティ（約200万人）が形成されており、日本とブラジルをつなぐ架け橋として重要な役割を果たしています。現地で用いられる「ジャポネス・ガランチード（Japonês garantido）：日本人は信用出来る」との表現が、日系人がこれまでブラジルで築き上げてきた信頼と功績を物語っています。

約2週間となる滞在期間中、株式会社京都科学は、現地の日系病院やシミュレーションセンターなどを訪問し、自社製品の紹介や医療関係者との意見交換を行います。ジージーピー株式会社は、ブラジルの農家や農業協同組合、牧場などを訪問し、現場視察や意見交換を行う予定です。甲陽興産株式会社は、各訪問先で廃棄物処理の現状について確認する他、日本語学校で環境教育に関する出前授業も実施致します。本連携調査団を足掛かりとして、その後のJICA「中小企業・SDGsビジネス支援事業」への採択や、現地法人設立につながる事例も出てきており、参加企業の今後の動向が注目されます。

概要

調査期間：2020年2月1日（土）～2月17日（月）の17日間

派遣国・州：ブラジル（サンパウロ州、パラナ州、ミナス・ジェライス州）

※これまでの派遣実績及び成果については、以下リンク先をご参照ください。

https://www.jica.go.jp/regions/america/private_sec.html

貴メディアでも同調査団及び参加企業につき、取り上げていただければ幸いです。

【本件に関する問い合わせ】

JICA 関西 企業連携課 担当：笛吹 弦

TEL：078-261-0397

FAX：078-261-0357

E-mail：Usui.Gen@jica.go.jp